



1 主食用米作付転換支援事業 (補正額 16,000千円)

目的 今後も消費の減少が見込まれる主食用米の生産から、収益性の高い作物、需要が見込める作物へ作付転換を図る。

【事業の必要性・背景】

- ・人口減少・食生活の変化等により主食用米の需要が減少している中で、特にも令和3年は新型コロナの影響等により民間在庫の過剰に直面し、米価が大幅に下落した。
- ・主食用米の需要が今後も毎年減少すると見込まれることから、主食用米に依存した農業経営から脱却し、農業が産業として成り立つための大胆な戦略転換が必要となっている。
- ・各農家にも自らの経営判断により、需要に応じた主食用米生産・需要が見込める品目への作付転換を促す必要がある。

○米の概算金(60kg)
R2・11,500円→R3・9,100円 ▲2,400円

○主食用米作付面積
R3実績・4,532ha→R4目安・4,380ha ▲152ha

【事業内容】

主食用米作付転換支援交付金

対象者 : 前年度まで主食用米を作付けしていた水田で、補助対象作物に作付転換した農業者

事業期間 : 令和4年度～令和8年度 (令和6年度までに取り組む作付転換を対象とし、取組初年度から **3年間** 対象とする。)

対象作物 : 加工用米・新市場開拓用米・園芸作物(野菜)

助成単価 : 20,000円/10a (令和4年度単価※令和4年度の作付転換には3年間20,000円を適用)

※令和5年度以降単価未定

対象面積 : 年80ha (R4生産目安 対前年比▲152haのうち約半分の80haの転換を目標とする。)

積算 : 16,000千円/年度 (20,000円×80(10a)=16,000千円)

	1年目	2年目	3年目	対象面積	単価	事業費
R4	80ha			80ha	20,000円	16,000千円
R5	80ha	80ha		160ha	20,000円 (R5未定)	16,000千円 +未定
R6	80ha	80ha	80ha	240ha	20,000円 (R5R6未定)	16,000千円 +未定
R7		80ha	80ha	160ha	(R5R6未定)	未定
R8			80ha	80ha	(R6未定)	未定

【支援イメージ】経営体A 1年目5ha 2年目1ha 3年目3ha 作付転換

	1年目	2年目	3年目	対象面積
R4	5ha			5ha
R5	5ha	1ha		6ha
R6	5ha	1ha	3ha	9ha
R7		1ha	3ha	4ha
R8			3ha	3ha

【事業スケジュール(想定)】

令和4年2月3日～ JA冬季座談会(事業周知・作付予定書、生産目安数量通知)

令和4年2月下旬 作付予定書作成(耕作者・作付品目決定)

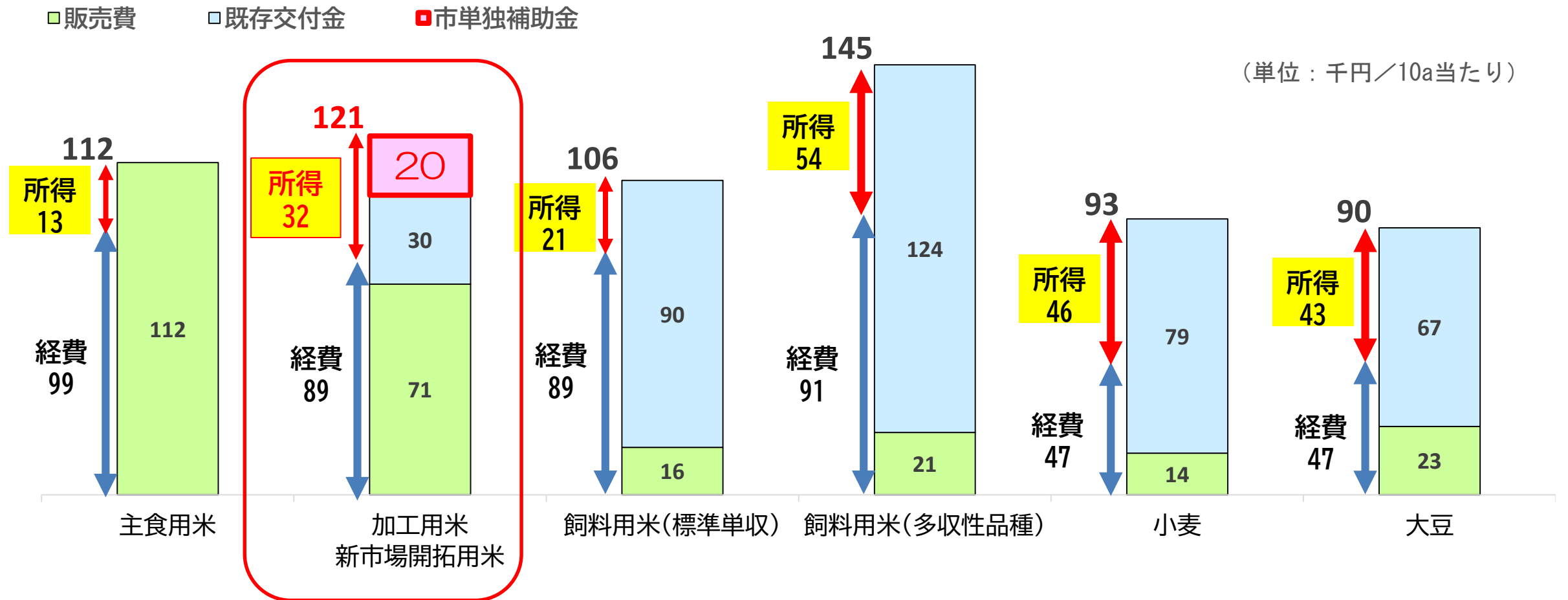
令和4年5月～6月 申請受付

令和4年12月 交付

- 3年間の継続支援を示すことで農家は安心して作付転換に取り組める
- 早く取り組み、転換面積を増やしていくほどメリットがある
- 3年間転換を継続することで転換作物が定着する

2 支援のイメージ

(販売費・経費は農林水産省の試算)



- ※1 この他、園芸作物（野菜）についても主食用米から作付け転換した場合に、10a当たり20,000円を助成する。
- ※2 加工用米・新市場開拓用米の対象面積は、生産数量を北上市の基準単収で除して算出する。
- ※3 R5年度から作付転換する場合の単価は、未定。